

Tohoku Gakuin Alumni Association

LUX MUNDI

東北学院同窓会報 [ルクス・ムンディ～世の光～]

Vol.27 2024.12



通信

LIFE LIGHT LOVE 20万人が繋ぐ、TGコミュニケーション



東北学院大学

[大学院]

文学研究科(博士課程) / 英語英文学専攻・ヨーロッパ文化史専攻・アジア文化史専攻

経済学研究科(博士課程) / 経済学専攻

経営学研究科(修士課程) / 経営学専攻

法学研究科(博士課程) / 法律学専攻

工学研究科(博士課程) / 機械工学専攻・電気工学専攻・電子工学専攻・環境建設工学専攻

人間情報学研究科(博士課程) / 人間情報学専攻

[学部]

文学部 / 英文学科・総合人文学科・歴史学科・教育学科

経済学部 / 経済学科・共生社会経済学科 (2023年4月募集停止)

経営学部 / 経営学科

法学部 / 法律学科

工学部 / 機械知能工学科・電気電子工学科・環境建設工学科・情報基盤工学科 (2023年4月募集停止)

教養学部 / 人間科学科・言語文化学科・情報科学科・地域構想学科 (2023年4月募集停止)

地域総合学部 / 地域コミュニティ学科・政策デザイン学科

情報学部 / データサイエンス学科

人間科学部 / 心理行動科学科

国際学部 / 国際教養学科

土樋キャンパス

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 TEL.022-264-6421

五橋キャンパス

〒984-8588 仙台市若林区清水小路3番1号 TEL.022-354-8100

泉キャンパス

〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号

東北学院中学校・高等学校

[東北学院中学校]

特別選抜コース / 総合コース

[東北学院高等学校]

特別選抜コース / 特別進学コース / 総合進学コース / TGコース

〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1 TEL.022-786-1231 FAX.022-786-1460

東北学院榴ヶ岡高等学校

特別進学コース / TG選抜コース / 総合進学コース

〒981-3105 仙台市泉区天神沢二丁目2番1号 TEL.022-372-6611 FAX.022-375-6966

東北学院幼稚園

〒985-0862 多賀城市高崎三丁目7番7号 TEL.022-368-8600 FAX.022-309-2655

01 学校法人 東北学院 概要

02 特集 東北学院は麺が熱い!

マルニ食品株式会社
代表取締役社長 二階堂 玲子

株式会社稲庭うどん小川
代表取締役社長 小川 博和

城北麺工株式会社
代表取締役 伊藤 栄司

11 TGギャラリー

12 躍動する同窓生 ~世代を超えたTGの輪~

NPO法人 日本視覚障害者柔道連盟
パリ2024パラリンピック 柔道日本代表監督 遠藤 義安

公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団
事業部 長谷山 博之

16 懐かしい風 新しい出会い~同窓生のお店を訪ねて~

株式会社名取ゴルフガーデン / 株式会社グリーンランド
代表取締役社長 大友 隆雄

18 代議員会報告 / 収支決算書

20 Faces この人 この顔

東北学院同窓会 東京支部 支部長 宮川 忠康

21 TGネットワーク

巻末 校友課より

表紙

東北学院旧宣教師館(デフォレスト館)

東北学院大学 土樋キャンパスに現存する国内最古級の宣教師館。2016年にその高い価値が認められ、重要文化財建造物に指定されました。建物は、2012年までは戦後の居住者であった宣教師の名前をとって「シップル館」と呼ばれていましたが、登録有形文化財となったことを機に、明治期の居住者J・H・デフォレストに由来して「デフォレスト館」へと名称を変更しました。

LUX MUNDI

Tohoku Gakuin Alumni Association

東北学院同窓会報

[ルクス・ムンディ~世の光~]

Vol.27 2024.12

表題 ~Lux Mundi(世の光)~

「Lux Mundi(ルクス・ムンディ)」は、ラテン語で「世の光」を意味します。「世の光 わがほこり」と校歌にも出てきますので、東北学院で学んだ方々には馴染み深いものがあると思います。「ルクス・ムンディ(世の光)」は、いうまでもなく東北学院の真の創設者イエス・キリストのことです。そのキリストの光に導かれて、それぞれの人生を歩んでいただきたいとの願いが込められています。



東北学院旧宣教師館(デフォレスト館)



Maruni Frozen

当社はこの1年で新たな事業として「冷凍食品事業」と「フリーズドライ麺の開発」を進めております。弊社は長い歴史を持っていますが、常に10年先の社



東北学院は 麺が熱い!

マルニ食品株式会社



時代とともに進化しながら 世代を超えて愛される 安全で美味しい 100年先の麺文化を創造

マルニ食品株式会社

代表取締役社長

二階堂 玲子

(にかいどう・れいこ)

平成4年東北学院大学経済学部経済学科卒

宮城県登米市出身。大学卒業後、東京で就職。メーカー勤務を経て、日本生産性本部にて経営コンサルティングの資格を取得。その後、宮城に戻りマルニ食品株式会社に入社。2013年に5代目社長に就任。今年から冷凍麺の事業を本格的に開始する。趣味は楽器の演奏。

会や、お客さまに喜ばれる商品を想像しながら、新しい取り組みを進めてきました。時代の変化にあわせた「個食でも家族の食卓にもご馳走になる冷凍技術」として、自社ブランド「Maruni Frozen」を立ち上げ冷凍惣菜の強化を進めながら、フリーズドライ麺の開発を同時に進めています。どちらもお客さまの感想や意見を開発に生かしながら、長く愛されるラインアップにしていきたいと思っています。

で、どうしても自社の経験だけでは乗り越えられない部分があります。そこで、東北大学のナノテラスを活用できるコアリションメンバーとして、東北大学や東北経済連合会と連携を行いながら、外部と協力し、共に成長していくことを目指しています。

込み、世代を超えて食べ続けてもらえる商品を作りたいと考えています。子どものときに食べたものは、大人になっても記憶に残り、つながっていくものだと思います。そして、100年先の子どもたちにも、私たちの商品を喜んで食べてもらいたいと思っています。

「感動づくり」と「地域づくり」

経営理念に「感動づくり」と「地域づくり」という言葉があります。やはり、地域の良いものを活かしつつ、人々が喜ぶものを提案していくことが、会社としての主義としています。ただ1990年代半ばからのデフレの影響で商品がどんどん安く売られてしまう中、「安売りではない商品」を作り、「高く買ってもらう価値」を提供したいと考えるようになってきました。そのためには、お客さまに分かりやすい形で価値を伝える必要があります。

100年先の子どもたちのために

当社のビジョンは、日本の麺文化を磨き上げ、世界に喜ばれ、誇れるものにする事です。また、ものづくりをする上で、私たちが大切にしているのは「100年後の子どもたちが喜んで食べる商品を作り続ける」という考えです。このビジョンには、「どの世代の方が食べても美味しく安全なものを提供する」という思いを込めています。

例えば、当社の商品である「うどん」は、離乳食としても、歯が弱くなったご老人にも、また病気の時にも食べられる、人生の様々な場面に寄り添う商品です。私たちは、このように生活に溶け

今よりもっとお客さまの顔が見える販売に戻したいという「原点回帰」の発想と、「品質本位の正当な販売をしたい」という発想から、直営レストラン「麺や文左」を2011年10月に開業させました。「麺や文左」は、私たちの求めている食文化や麺づくりに対するスタンダード品質の考え方を伝える一種のブランドシグナルであり、社員一人ひとりが地域のためにどうあるべきかを考え、向き合うための場所と位置づけています。



東北学院は
麺が熱い!

稲庭うどん 小川

伝統を未来へつなぐ。
こだわりが生み出す
唯一無二の美味しさと
透明感を世界へ。

株式会社稲庭うどん小川

代表取締役社長

小川 博和

(おがわ・ひろかず)

平成5年東北学院大学工学部土木工学科卒

秋田県横手市出身。1994年有限会社稲庭うどん小川商店に入社し、専務取締役役に就任。2005年に株式会社稲庭うどん小川に社名を変更。2014年より現職。2016年から海外輸出に注力し、現在36か国まで輸出実績を伸ばしている。趣味は、中学・高校時代していたバレーボール。10年前までは、地元中学校のバレー部で外部コーチを務めていたことも。

とても貴重な学生時代

特に印象に残っているのはゼミです。ゼミでは素晴らしい仲間恵まれました。かなりハードな内容で有名なゼミだったので、自分より優れた人たちと交流できて、とても貴重な経験でした。それが本当に価値あることだったと感じています。私は大学を卒業するまで特にやりたい仕事もなく、志もありませんでした。だから、今の若者が「将来何になりたいかわからない」と言うのに、すごく共感できるんです。私も「やりたくないことはやりたくない。好きなことだけしたい」という気持ちがよく分かります。

なので、社内では基本的に指示や命令はしないと決めています。自分で考えて動かなければ、仕事ができる人間にはなれないからです。人生はそれぞれのもので、自己責任で自己完結することが大切だと思っています。結局、自分の選んだ道に責任を持つことが大事なんです。自分で考える力や自立する力、つまり他人に頼らずに生きる力があれば、自分の価値観を大切に生きていけるのではないのでしょうか。

常に新しいことをやっている中で、アップデートの毎日です。順調で楽しい社長業というわけではないことは確かです。だからこそ、10年先、100年先を見据えて、会社を存続させることで、地域や社員の皆さんに貢献できるという意味は大きいと思っています。そうやって新しいことにトライしてきた歴史がある会社です。



とろけるような最高品質の仙台牛と旨味のしみ込んだ弾力とコシのある極太手延べうどん、さらに料理人こだわりの特製割り下が三位一体となった「仙台牛 牛すき手延べうどん」は贈答品としても大好評いただいています。

豊富な製造機器で次世代の麺の製造・研究を行っている「Maruni Frozen」の冷凍設備(写真左)と伝統的な製法を守りながら、美味しい麺と地元の郷土料理が楽しめる「麺や文左」(写真右)。



Company Profile

マルニ食品株式会社
【事業内容】 麺を主体とした食品の開発、製造
【設立】 1885年
【住所】 宮城県登米市南方町鴻ノ木123番地1
【電話】 0220-58-5502(代)
【URL】 <https://www.02-food.com>



「ひとつひとつ丁寧」

稲庭うどんは、日本三大うどんの一つとして、秋田を代表する名産品です。当社では、仕込みに4日間をかけ、すべての工程で丁寧な作業を行っています。特にうどんを伸ばす作業がすごく大事なことです。切り方や麺の色にムラが出ると商品化できないので、「ひとつひとつ、細心の注意を払っています」。

私たちのうどんは、油を使わず5段階の製法を経て仕上げられています。また、麺に含まれる小さな気泡が独特の食感を生んでいます。こうしたこだわりが、美味しさの秘密なんです。茹で上がった麺は透明感があって、とてもきれいな仕上がりになります。

さらに、化学調味料や保存料を使わない、専用の麺つゆも開発しました。稲庭うどんに合うつゆをつくるために、関東のカツオ節問屋さんと何度も試作を重ねて、ようやく完成させました。

ちなみに、当社のうどんは小麦粉と水、塩だけでつくられていて、茹でたときの食感に唯一無二です。この乾麺の美味しさをお客さまにも丁寧に伝えたいのですが、最近乾麺の需要が減っているんです。稲庭うどんは高級麺として、贈答用として人気があったのですが、それも減少傾向にあり、このままだと、稲庭うどんの市場が縮小してしまうかもしれないという心配もありました。



販路を海外へ

私たちの世代は問題ないかもしれませんが、息子や孫の世代に事業を継承



していくために、新しい道を探す必要がありました。そこで、2016年から輸出事業に挑戦を始めました。まず秋田県主催の海外展示会に参加し、ベトナムとシンガポールからスタートし、翌年の2017年にはフランス、2018年には韓国と台湾の展示会にも参加しました。

その後のコロナのパンデミックで、対面での商談ができなくなったのですが、すぐにオンライン商談に切り替えて、輸出事業を着実に進めてきました。昨年は、北欧のエストニアに出張で訪れた際、現地担当者が東北学院大の卒業生だったという驚きの出会いがありました。私たちはプチOB会を開いたのですが、このような偶然的な出会いは本当にうれしくて、学院のOB・OGが世界中で活躍していることを改めて実感しました。今後海外でこういった素敵な出会いがある

ことを期待しています。いまは、全体の売上の約20%が輸出の売上ですが、2年後までに輸出先を50カ国に拡大し、売上の30%を輸出によるものにすることを目標にしています。

リブランディングの成果

2019年からは、リブランディング事業にも取り組んできました。私たちの製品がこだわりの製法でつくられていることをしっかり伝えるべきだという結論に至り、2021年にパッケージを変更しました。その結果、当社の取り組みがさまざまなメディアで取り上げられ、多くの賞をいただくことができました。特に、2022年には日本パッケージ大賞を受賞したことは大変光栄なことでした。

また、SDGsに関連した取り組みとして、製造工程でどうしても発生してしまう端切れを活用して、「エール」という発泡酒を販売しています。さらに、子ども食堂や県内の介護施設に無償で寄贈する活動も行っています。冬には「犬子祭り」という地元の祭りで、稲庭うどんの端材を使って犬の形をした飾り物をつくるなど、食品ロスゼロを目指しています。

ものづくりを育んだ工学部

私が通った工学部の多賀城キャンパスは仙台港の近くでしたので、友だちにサーフィンを教えてもらったりもしました。

また、大学時代の友人たちとは、いまでも非常に仲がよく、何かあるたびに集まっています。私は異業種で働いていますが、友人の中には起業して独立している人もいて、彼らがうちの商品を贈答用に使うってくれるのは本当にありがたいです。大学時代で特に印象に残っているのは、土木工学科での実験です。コンクリートをつくったり、みんなで共同実験をしたりしました。私は普通高校出身でしたが、工業高校出身の同級生たちが専門知識が豊富で、彼らから学ぶことが多くありました。その一方で、私たちが数学や英語を教えることもあり、助け合いながら学んでいたことが思い出深いです。

工学部での学びはその情熱をさらに強めてくれました。シビルエンジニアリング（土木工学）では「つくったものが半永久的に残る」ということを教わり、自分が手がけた道路や橋、ダムなどが形として残る点に大きな魅力を感じていました。現在は稲庭うどんをつくっていますが、ものづくりに対する情熱は東北学院で培われたもので、それがいまでも続いていると感じています。乾麺やうどんづくりでも、「これで十分」という完成形はなく、天候や気温、湿度によって生地の状態が変わるため、常によりよいもの、より美味しいものを目指して改良を重ねています。この姿勢は、シビルエンジニアリングの精神がいまも私の中に根づいているからこそだと思います。



Company Profile

株式会社稲庭うどん小川

【事業内容】 乾麺製造販売

【設立】 1982年5月

【住所】 秋田県湯沢市稲庭町字大森沢144

【電話】 0183-43-2803(代)

【URL】 <https://ogawaudon.com>



熟練の職人が手練りで仕上げた白く美しい麺は、工程ごとの丁寧な熟成により、めんの中に気泡が生まれ、独特の強いコシと豊かな食感を生み出します。そのコシは、のどごしのよさを際立たせ、一本一本が職人の手仕事によってつくり上げられた、こだわりの逸品です。



東北学院は
麺が熱い!

JOHOKU
麺の城北・もちの城北
城北麺工株式会社

地域に愛される企業として

創業は昭和24年に遡ります。戦後、当初は麺の配給を行い、冬の間の仕事がない時期に農家の方々を集め、杵と臼を使って手作業で餅をつくり始めました。その後、昭和31年に本格的に餅と麺の製造を開始しました。以来、地元の方々に「お餅と麺をつくらぬ会社」として親しまれ、どちらも伝統的な食文化であり、地域の名前を冠していることから、地域に愛される会社でありたいと思っています。

当社の「蕎麦」の特徴の一つは、塩を一切使用しない「無塩の蕎麦」を製造していることです。全国でも無塩の蕎麦をつくらぬ企業はわずか3社ほどしかなく、これは当社の大きな差別化のポイントとなっています。

看板商品である「羽黒そば」は、昭和39年に羽黒山の歴史や自然を多くの人に知ってもらいたいとの思いから、羽黒山・出羽神社の宮司さんから製造の依頼を受け誕生しました。それ以来、出羽神社に奉納し、神楽でお祓いを受けた特別な商品として販売しています。

また、お客さまのニーズに応じた新たな商品開発にも取り組んでいます。今年9月には、山形県の特Aランク米「つや姫」を米粉として練り込んだ麺を新商品として発売しました。この商品が地元にも広まり、やがて県外の方々への贈答品としても選ばれることを期待しています。



餅は一年中

そば、うどん、ラーメン、乾麺、生麺など幅広い商品を取り扱っていますが、特別にお餅のテクノロジーが最も豊富です。私がお餅の会社に来て驚いたのは、お餅を年中製造していること、そしてお客さまが季節を問わず購入してくださることで、私には月山西川町の出身で、お餅は正月やお盆などの季節行事に食べるものだと思っていたため、常に需要があることに驚きました。

当社のお餅は、昔ながらの技法を基に製造されています。その特徴の一つは、精米したお米を36時間以内にすべて餅

にする点です。精米は時間が経つほど品質が落ちるため、玄米を仕入れて自社で精米し、新鮮な状態で餅をつくらぬです。また、杵つきに關しても伝統的な製法を守り続けています。「あの会社のお餅が食べられなくなったら寂しい」と言っていただけのような愛着を感じてもらい、継続的に商品を選んでいただけていることが、私たちにとって最大の喜びです。特にお正月には、当社のお餅を選んでいただけることを目標としています。

お客さまの笑顔のために

多様な商品を手がけていますが、最も大切にしているのは「安心・安全な商

品を提供すること」です。私は従業員に対して、安心・安全な商品をつくるだけでなく、その先にいるお客さまの笑顔想像しながら作業に取り組んでほしいと常に伝えています。作業に集中しすぎると、ときには見逃しや違和感に気づけないこともあります。だからこそ、自分の役割に留まらず、お客さまが商品を口にするときの笑顔や、家族で「これ美味しいね」と言い合う光景を思い浮かべながら商品をつくらぬと話しています。

私の基本理念は「不易流行」、すなわち、伝統を守りながらも時代に合わせて変化していくことが大切だと考えています。若い社員たちが新しい発想で新商品を開発してくれており、今後も時代に合せて進化していく必要があると感じています。また、健康志向の高まりに伴い、玄米の市場ニーズが増えています。以前はニッチな商品だったものが次第に主流になってきているのは、興味深い現象です。時代に合った商品開発が重要であり、どんな商品がヒットするかはわからないため、挑戦を続けることが大事だと実感しています。

何がヒットするかは予測が難しいですが、挑戦を続けることで新たな可能性を見つけていきたいと考えています。

多彩な経験をした学生時代

大学生活では、授業に出て、遊び、アルバイトをするという3つの要素を4年間続けていました。中でも特に印象深い

城北麺工株式会社

代表取締役

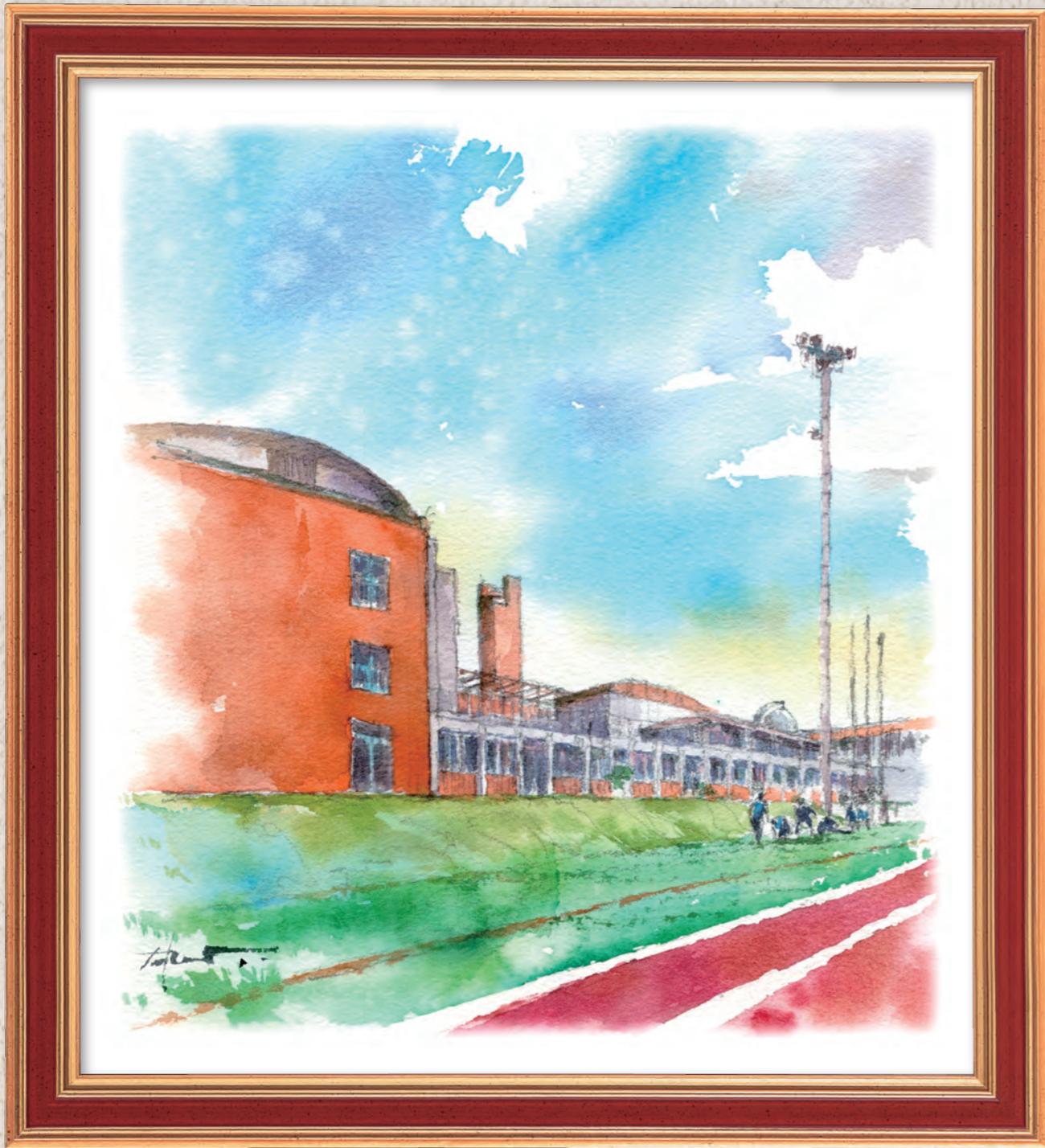
伊藤 栄司

(いとう・えいじ)

昭和62年東北学院大学法学部法律学科卒

山形県西村山郡西川町出身。1987年荘内銀行に入行。寒河江支店で後方事務を担当。その後、為替や送金業務を経て、営業や融資の仕事を経験。仙台支店支店長を経て、2021年10月の株主総会で城北麺工株式会社の社長に就任。現在は、同居の初孫の顔を見るのが一番の癒しの時間となっている。

お客さまの笑顔のために、 地域に愛される 伝統的な美味しさと 時代に応じて進化する味を



TG Gallery
 東北学院中学校・高等学校
 Taka Furuyama

絵／古山 拓 昭和61年東北学院大学文学部史学科卒。昭和37年岩手県生まれ。アニメーター、広告制作会社勤務を経て、画家・イラストレーターとなる。全国各地で風景水彩画の個展を開催。日仏現代美術博「ARTEC 造形美術賞」受賞。イタリア・ファブリアーノ開催世界水彩展に展示。アトリエ名／ランスエンド。絵本、児童書の絵も手がけ、代表作に「一本の木がありました。」(PIE International)「あなたの一日が世界を変える」(PHP研究所)「13枚のピンぼけ写真」(岩波書店)ほか多数。



はサークル活動です。私が所属していた「球技研究会」は、設立5年目の非常に人気のあるサークルで、入会時には先輩たちによる面接が行われていました。幸運にも、山形出身の先輩に推薦していただき、無事に入会することができました。バレーボール、ソフトボール、テニスなどさまざまなスポーツを楽しむサークルで、とても充実した時間を過ごしました。

非常に心強く、安心感を得ています。大学時代にさまざまなアルバイトを経験したことは、社会に出た後に大きく役立っていると感じています。テレビ局や引越し業者、鉄工所、家庭教師など、幅広いアルバイトを経験しました。これらの経験は現在の仕事にも活かされており、特に季節労働の方と話す際に、アルバイト時代の話を共有すると共感を得ることがあります。

多様な経験を積んだことで、多くの「引き出し」ができた実感があります。

製造業は、形のあるものをつくり出すという点で、目に見える成果を得られることが魅力だと思います。特に「食」に関わる仕事は、食べ物がなければ人は生きていけないという非常に重要な役割を担っているため、その「やりがい」を形にしていきたいと強く感じています。

Company Profile

城北麵工株式会社

【事業内容】乾麺、生麺、茹麺、ワンタン・ギョーザ・シューマイの皮、シングルバック餅、生きり餅、かびない鏡餅、包装餅、赤飯、ごはん、トッポギ、トック製造販売

【創業】1949年6月

【設立】1956年6月

【住所】山形県山形市城北町二丁目2番17号

【電話】023-643-5501(代)

【URL】<https://yamagata-johoku.co.jp>



①そば粉「最上早生」を使用した五割そばの「出羽三山名物 伝承羽黒そば」は食塩を一切使用していないので蕎麦本来の香り、旨味をお楽しみいただけます。

②山形県産米「つや姫」の米粉を一部に練り込んだ、上品な口当たりの食感で、ほんのり甘みの味わいの「つや姫麺」。

③話題のスーパー大麦と、健康維持に役立つもち麦・山形県産「つや姫」玄米100%を使用した「スーパー大麦 もち麦・玄米ごはん」。

④玄米なのに、ふっくら食感で食べやすく美味しい「山形つや姫 玄米ごはん」など、こだわりの商品を多数取り揃えております。



NPO法人
日本視覚障害者柔道連盟
パリ2024パラリンピック
柔道日本代表監督

遠藤 義安

(えんどう・よしやす)

昭和57年東北学院大学法学部法律学科卒

profile

宮城県本吉郡南三陸町出身。中学校時代に近所の先輩や、そのころテレビで放送していたドラマ『柔道一直線』をきっかけに柔道始める。パラリンピックには、2000年のシドニー大会から関わり、2008年の北京大会後から日本代表の監督に就任。趣味はカラオケで、盆栽にも造詣が深い。座右の銘は「懸情流水 受恩刻石」(かけた情けは水に流して忘れ、受けた恩は心の石に刻んで忘れてはならない)。

PROGRESS

さまざまな分野で活躍する東北学院の同窓生たち。



選手への感謝と安堵の思い

パリ2024パラリンピックを終えて、「やり切った、これで締めくくりにしたい」と感じています。監督としては、2012年のロンドン大会から代表チームを率いてきましたが、パラリンピックには2000年のシドニー大会からコーチとして関わってききましたので、正直、長くやりすぎたのかなという思いです。

今回は素晴らしい選手たちの努力により、男女合わせて4つのメダルを獲得することができました。大会前の目標は、金メダルを2つ獲得で、記者会見でも「金2つに加えて、銀か銅を」という話をしていました。実際、大会では何が起こるかかわらないため、目標の半分でも達成できればよいと覚悟していましたが、「金メダルだけは」といっても1つは取りたい」という強い思いがありました。ロンドン大会では金メダルが1つ、リオデジャネイロ大会では銀メダル1つ、銅メダル3つ、東京大会では銅メダル2つといった結果でしたが、今回は、金メダル2つを獲得できたことに安堵していますし、選手たち、そしてそのサポートに日々努めたスタッフに感謝しています。

私は中学校から高校、大学まで柔道部に所属していました。視覚障害者柔道との出会いは、大学時代に週1回、仙台市の武道館で練習をしていたときでした。そこで宮城県立盲学校に新任でやってきた宇和野康弘先生と出会い、練習相手をするようになりました。宇和野先生は全盲でありながら、柔道が正式種目になった1988年のソウル大会で金メダルを獲得しました。私は当時「パラリンピック」という言葉さ

これからは遊ぶように

子どもたちと柔道を楽しみ

選手たちの努力と情熱を

次世代に紡いでいきたい



え聞いたことがありませんでしたが、宇和野先生が金メダルを獲得して帰国したことに大変驚きました。

しかし、当時の私は視覚障害者柔道に特別な興味をもっていたわけではありませんでした。宇和野先生がパルセロナ大会でも銀メダルを獲得し、シドニー大会に向けて出場を目指していたころ、仙台で行われた代表選手との合宿を少し手伝ってくれないかと頼まれたことが、ナショナルチームと関わるきっかけとなりました。視覚障害者柔道に深く関わるようになったのはそのときからで、宇和野先生のおかげであると感謝しています。

個性と向き合い成長を促す

柔道のスタイルは、ルール変更に伴って進化しています。オリンピックと同様に、パラリンピックでもルールは度々変更され、選手たちはその都度、適応しなければなりません。今回のパラリンピックでは、東京大会終了後に視覚障害の度合いによるクラス分けが更に体重による階級が男子は7から4に、女子は6から4と変更されました。このようなルール変更に対応するのは、どの競技でも難しい部分があります。

またパラリンピックに出場できない選手の多くは、練習量を十分確保できないことが大きな要因であると私は考えています。ときには厳しいと思われることでも伝えて、選手にしっかりと取り組んでもらうことができると、勝つことも、競技についていくことも難しいと感じてきました。そこで、私が努めてきたのは、障害の程度にかかわらず、個々の選手の志や性格と向き合い、成長を促すことでした。選手が取り組んだ努力の積み重ねが、最終的には勝利につながります。従って、今回の結果は、選手たちが自身を乗り越え、その努力が実を結んだからこそ得られたものだと考えています。

優れた選手たちの活躍はもちろん、支えてくださった皆さまのご理解とご協力によって大きな目標を達成したいと、競技としての柔道からは一歩引き、子どもたちと一緒に遊ぶような形で柔道に関わっていきたいと思っています。競技の世界は厳しいですが、未来の世代に柔道を楽しむ機会を提供し、彼らの成長を見守ることに喜びを感じています。選手たちが見せてくれた努力と情熱を、これからも柔道を通じて、次の世代に伝えていきます。



躍動する同窓生

PROGRESS

さまざまな分野で活躍する東北学院の同窓生たち

公益財団法人
仙台フィルハーモニー管弦楽団
事業部

長谷山 博之

(はせやま・ひろゆき)

昭和53年東北学院榴ヶ岡高等学校卒
昭和61年東北学院大学経済学部経済学科卒

profile

仙台市出身。音楽事務所勤務を経て、仙台市、宮城県、民間からの拠出により『財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団』を設立するにあたり、1991年入団。現在に至る。
趣味はキャンプ、プラモデルづくり、料理、読書。

宮フィルから仙フィルへ、成長と喜び

私が最初に手がけたのは、仙フィルの前身である宮城フィルハーモニー管弦楽団(以下、宮フィル)での川端純四郎先生のお仕事でした。先生はバツハ研究者としても素晴らしい、難しい話を驚くほど分かりやすく解説してくれる方でした。

その後、音楽事務所で宮フィルの仕事のサポートをしていたのですが、仙フィルに名前を変える時に、楽団の充実や事務局の体制整備が必要だという話が出て、仙フィルに加わることになりました。それが1991年のことです。当時の仙フィルはほとんどは、事務局の職員は8人しかいませんでした。当時は年間150公演、室内楽を含めると180公演ほどあり、私は演奏者の手配から公演の随行、営業までしていました。しかし、その忙しさがむしろ楽しくて仕方なかったのです。仙フィルが誕生したばかりのころ、私はオーケストラが成長していく過程に立ち会うことができ、本当に幸運だったと思っています。

音楽や東北学院を通じて、たくさんの方々つながっていることが、私にとって本当に幸せだったと感じています。卒業後、多くの方に「お前、俺の後輩じゃないか!」と言われることもあり、そのたびに「東北学院にいて、仙台にいて本当に良かったな」と思うことが多かったです。

仙フィル50周年と、心残りなこと

昨年、仙フィルは50周年を迎えました。私もそろそろこの組織を去る時間が近づいています。そこで、チケットがなかなか売れない公演があるという課題がありました。が、「右肩下がりでも終わりたい」という思いから、いろいろと工夫を重ねた結果、4月から9月の演奏会はずべて完売しました。これは仙フィルの歴史で初めてのことです。

一番の心残りは、東北学院大学の今井奈緒子先生のような日本のオルガン界の頂点に立つ素晴らしい方と、もっと深く関われば良かったのに、ということなのです。



音楽を通じて味わえる特別な瞬間を感じてほしい

特別な空間で分かち合うライブの感動を

皆さんも同じだと思いますが、長く仕事をしていると職場に対する不満や、「これで十分だ」という状態はなかなか訪れませんが、ただ、不満が生じるのは、そこに可能性があるからで「もっとよくなるはずなのに、うまくできなかった」という自分への苛立ちや、もっと多くの人と音楽を通じて関わることができなかったという残念な気持ちが残ります。できなかったことが多いからこそ、その「やり残し感」が強く感じられるんです。数年後、仙台に新しいホールができますが、それが完成するころ私は第一線を退いていると思いますので、次の世代の人には、「何のためにホールを活かさなければならぬのか」を考えてほしいと思います。

「何のために街にオーケストラがあるのか」それを自問自答してきました。演奏会を聴いて「ストレスが発散できた、明日は頑張って仕事しよう」なんて思ってもらえたら嬉しいです。また、今年から平日の午後2時に演奏会を始めたのですが、夜に来られない人たちにも楽しんでもらえます。そうした人たちが気持ちよく演奏会を楽しみ、演奏会が「コミュニケーションツールになることもあるでしょう。誰かと一緒に聴いて、「今日の演奏はよかったね」と会話が生まれるような場になったら幸いです。また、宮フィル時代からのことをよく知っているのは私しかなくなってしまうので、仙フィルの歴史を伝えていく役割があるのかなとも思います。

音楽の仕事では、世代や性別、思想、信条、立場など、あらゆる違いを超えて、演奏会に集まった人々が一緒に感動を分かち合える。それはとても貴重なことです。同じ空間に共感すること、それ自体が奇跡のようなものです。焚き火の炎が一瞬たりとも同じ形にならないのと同じように、音楽も毎回異なります。生演奏は、どんなに頑張っても全く同じ演奏はできません。それがライブの魅力です。だから、テレビやYouTubeで音楽を聴くのもいいですが、ぜひライブでその場の空気を感じてほしい。会場で聴くことで、自分もその特別な空間の一部になれるんです。



仙台フィルハーモニー管弦楽団

1973年に市民オーケストラ「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として誕生し、翌年に初の定期演奏会を開催して本格的に活動を開始。1989年に仙台市の政令指定都市移行を機に、本拠地の都市名を冠した『仙台フィルハーモニー管弦楽団』と改称。

年9回18公演の定期演奏会をはじめ、2001年から開催されている仙台国際音楽コンクールでホストオーケストラとして出演しているほか、2006年秋からは、毎年「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれ、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。その他、県内外での各種コンサートへの出演や文化庁による全国の小中学校訪問なども含め、年間100回を超える活動を展開。2023年には創立50周年を迎えた。



クラシックと讃美歌に育まれた音楽の感性

私の実家は秋田なので、15歳から榴ヶ岡高校に通うために下宿生活をしていました。下宿にはテレビもなし、一人なのでいつもFMラジオばかり聴いていました。学校では礼拝の時間に讃美歌を歌うといったこともあり、クラシック音楽が身近にありました。また、祖母が宮城学院の同窓会の秋田支部長だったこともあり、宮城学院の音楽科が夏休みの期間に演奏旅行をしていたのですが、小学生のときに何度かその演奏会に連れて行ってもらった記憶があります。クラシック音楽に対して抵抗感がなかったのは、そうした経験の影響かもしれません。

高校時代の恩師と奥さまとの温かい交流

もうお亡くなりになりましたが、後に校長になられた久能隆博先生が私の初めての担任だったんですが、とても可愛がっていただいたのが、高校時代の一番の思い出です。いまでもそのご縁で奥さまとはつながりがあります。音楽家として活動している私の息子が、何年前かに仙台フィルハーモニー管弦楽団(以下、仙フィル)と共演したときには、久能先生の奥さまにも来ていただきました。



イタリア料理 カプリチョーザ ザ・モール仙台長町店
 〒982-0011 宮城県仙台市太白区長町7-20-15
 ザ・モール仙台長町店PART2・3F
 TEL.022-304-2601
 [営業時間] 11:00~22:00(ラストオーダー21:00)
 [定休日] 無



心を込めて手づくりした 南イタリアの料理が引き出す 「お客さまの笑顔」がやりがいい



Capricciosa



懐かしい風 新しい出会い

同窓生のお店を訪ねて



株式会社名取ゴルフガーデン / 株式会社グリーンランド

代表取締役社長

大友 隆雄

(おおとも・たかお)

昭和42年東北学院中学校卒 / 昭和45年東北学院高等学校卒
 昭和50年東北学院大学経済学部経済学科卒

同窓生に勧められて

南イタリアの気取らないトラットリア(大衆食堂)をイメージしてつくられた「カプリチョーザ」は、仙台市地下鉄南北線長町南駅に直結するザ・モール仙台長町の人気店だ。特にランチタイムは、多くの女性客で賑わいを見せている。株式会社グリーンランド代表取締役社長としてこの店を運営する大友隆雄さんが「カプリチョーザ」のフランチャイズ事業として、1号店を構えたのは1999年。以降、着実に店舗数を増やしたが、現在はザ・モール仙台長町店と山形店の2店舗を展開。そして同じザ・モール仙台長町店に海鮮と細うどんの店「すみれ」と、仙臺鳥料理「鳥ふく」を出店し、独自ブランドの飲食店経営も行っている。

「私が飲食店を経営するとは、考えもしませんでした。しかし、あるとき同じ東北学院大学出身の友人に勧められて着手する決心をしました。これまでと全く異なる事業でしたが、美味しい料理を召し上がるお客さまの笑顔が見られることがうれしいのです。そう思うと、あのとき勧めてくれた友人には心から感謝したいですね」と大友さんはこの仕事のやりがいを話す。

「カプリチョーザ」では、原材料はおもにイタリアから輸入。一番人気は「トマトとニンニクのスパゲッティ」で、創業当時から愛されてきた。このほか、渡り蟹1匹分のほぐし身を自慢のトマトソースで煮込んだスパゲッティ「渡り蟹のトマトクリーム」や、ピッツアでは「マルゲリータ」なども好評。材料にこだわった本格イタリア料理が、リーズナブルな値段で楽しめるのも人気の秘密だ。

絆を深めた6年間

中学から大学まで、10年間東北学院に通った大友さん。「特に印象に残っているのは、中学・高校時代です。6年間も一緒に過ごすこと、同級生との絆は非常に深く、いまでも交流があります。先生方も個性的でおもしろい先生が多かったですね。特に、世界史を担当していた遠藤先生の授業が印象的で、その影響でいまでも世界史に興味を持っています」

また当時は全員が坊主頭でしたが、髪型の自由を認めてもらえそうになったころ、「長髪はダメだ」のひと言で全員を黙らせてしまった月浦校長のことも、忘れられない思い出だそう。

「いま受験が厳しくなっているかもしれませんが、私たちがこのころはもっと余裕がありました。やはり、中高一貫教育ならではの『ゆとり』も必要だと思います」と話す。仕事だけでなく、趣味の時間も大切にしている大友さんは、60歳を過ぎてからチェロを始めた。

「月に2回、レッスンを受けています。約30人のグループで年に1回、仙台市青年文化センターで演奏会も開いています。弦楽器は特に難しいですね。練習は大変ですが、それ以上にやりがいがあります。仕事もプライベートも、充実した日々を過ごしている。」

2024(令和6)年度東北学院同窓会代議員会議案

日時：2024(令和6)年5月16日(木)13:30～ 場所：仙台国際ホテル 2階「平成の間」

議事については以下の通り

議 事

- (1) 学校法人東北学院評議員の推挙について(報告)(了承)
- (2) 東北学院同窓会 T G 会の解散・名称変更について(報告)(了承)
- (3) 2023年度東北学院同窓会庶務報告(了承)
- (4) 2023年度東北学院同窓会支部・T G 会等開催報告(了承)
- (5) 2023年度東北学院同窓会支部・T G 会活動費補助利用状況報告(了承)
- (6) 2023年度東北学院同窓会収支決算報告(承認)

- (7) 2023年度東北学院同窓会財産目録(承認)
- (8) 2023年度東北学院同窓会監査報告(承認)
- (9) 東北学院同窓会奨学育英事業運営委員会2024年度申し合わせ事項(承認)
- (10) 2024年度東北学院同窓会事業計画(案)(承認)
- (11) 2024年度東北学院同窓会収支予算(案)(承認)
- (12) 東北学院同窓会役員を選任について(承認)
- (13) 東北学院同窓会役員候補者選考委員会委員の選任について(承認)

2024(令和6)年度 東北学院同窓会収支予算書

自 2024(令和6)年4月1日
至 2025(令和7)年3月31日

収入の部				支出の部			
科 目	2024年度予算額	2023年度予算額	予算増減(24年度-23年度)	科 目	2024年度予算額	2023年度予算額	予算増減(24年度-23年度)
前年度繰越金	24,809,162	26,007,477	△1,198,315	総 会 費	700,000	700,000	0
入 会 金	10,476,000	9,825,000	651,000	集 会 費	4,500,000	4,500,000	0
大 学 院	45,000	18,000	27,000	旅 費 交 通 費	6,000,000	7,500,000	△1,500,000
文 学 部	1,425,000	1,296,000	129,000	活 動 補 助 費	4,000,000	4,000,000	0
経 済 学 部	1,308,000	1,251,000	57,000	印 刷 費	7,600,000	7,000,000	600,000
経 営 学 部	981,000	903,000	78,000	通 信 費	1,800,000	1,500,000	300,000
法 学 部	1,095,000	975,000	120,000	広 報 費	2,500,000	3,300,000	△800,000
教 養 学 部	0	0	0	ク リ ス マ ス 費	300,000	300,000	0
工 学 部	1,011,000	951,000	60,000	TG十五日会費	5,500,000	4,550,000	950,000
地域総合学部	861,000	822,000	39,000	事 業 費	3,000,000	3,000,000	0
情 報 学 部	516,000	480,000	36,000	人 件 費	5,200,000	5,500,000	△300,000
人間科学部	525,000	456,000	69,000	業 務 委 託 費	11,200,000	11,200,000	0
国際学部	375,000	339,000	36,000	福 利 厚 生 費	800,000	1,000,000	△200,000
高 校	990,000	786,000	204,000	会 議 費	850,000	600,000	250,000
榴ヶ岡	798,000	987,000	△189,000	備 品 費	300,000	500,000	△200,000
中 学 校	546,000	561,000	△15,000	事 務 費	250,000	250,000	0
会 費	44,500,000	43,424,600	1,075,400	雑 費	1,000,000	1,000,000	0
大 学 院	588,000	399,000	189,000	オリジナル品製作費	3,000,000	2,500,000	500,000
文 学 部	5,787,000	5,550,000	237,000	サテライトステーション	50,000	50,000	0
経 済 学 部	6,756,000	7,200,000	△444,000	光 熱 費	900,000	1,300,000	△400,000
経 営 学 部	4,305,000	4,227,000	78,000	同窓会奨学事業費	5,000,000	5,000,000	0
法 学 部	4,566,000	4,404,000	162,000	助 成 金	9,500,000	10,000,000	△500,000
教 養 学 部	2,802,000	4,206,000	△1,404,000	貯蔵品評価損	150,000	247,500	△97,500
工 学 部	5,040,000	5,208,000	△168,000	小 計	74,100,000	75,497,500	△1,397,500
地域総合学部	1,881,000	885,000	996,000	予 備 費	9,715,162	7,494,577	2,220,585
情 報 学 部	1,221,000	570,000	651,000	次年度繰越金			
人間科学部	1,095,000	495,000	600,000	合 計	83,815,162	82,992,077	823,085
国際学部	810,000	390,000	420,000				
高 校	2,583,000	2,397,600	185,400				
榴ヶ岡高校	1,463,400	1,576,800	△113,400				
中 学 校	1,002,600	916,200	86,400				
会 員 会 費	4,600,000	5,000,000	△400,000				
業務受託収入	2,400,000	2,400,000	0				
TG十五日会費	1,500,000	1,155,000	345,000				
寄 付 金	0	100,000	△100,000				
TG会館建設資金並びに運営資金繰入金	0	0	0				
雑 収 入	130,000	80,000	50,000				
合 計	83,815,162	82,992,077	823,085				

※TGSS:東北学院サテライトステーション

科目間及び予備費の流用については、三役会議の了承を得て執行いたします。

(単位:円)

TG会館建設資金並びに運営資金	前期末残高	当期末残高	備 考
	200,000,000	200,000,000	七十七銀行、仙台銀行

2023(令和5)年度 東北学院同窓会収支決算書

自 2023(令和5)年4月1日
至 2024(令和6)年3月31日

収入の部				支出の部			
科 目	2023年度予算	2023年度決算	増減	科 目	2023年度予算	2023年度決算	増減
前年度繰越金	26,007,477	26,007,477	0	総 会 費	700,000	426,976	△273,024
入 会 金	9,825,000	10,143,000	318,000	集 会 費	4,500,000	3,010,000	△1,490,000
大 学 院	18,000	18,000	0	旅 費 交 通 費	7,500,000	5,081,217	△2,418,783
文 学 部	1,296,000	1,392,000	96,000	活 動 補 助 費	4,000,000	2,317,060	△1,682,940
経 済 学 部	1,251,000	1,278,000	27,000	印 刷 費	7,000,000	6,577,076	△422,924
経 営 学 部	903,000	939,000	36,000	通 信 費	1,500,000	1,253,366	△246,634
法 学 部	975,000	1,008,000	33,000	広 報 費	3,300,000	1,841,500	△1,458,500
教 養 学 部	0	12,000	12,000	ク リ ス マ ス 費	300,000	234,610	△65,390
工 学 部	951,000	990,000	39,000	TG十五日会費	4,550,000	4,127,199	△422,801
地域総合学部	822,000	813,000	△9,000	事 業 費	3,000,000	984,875	△2,015,125
情 報 学 部	480,000	546,000	66,000	人 件 費	5,500,000	4,432,455	△1,067,545
人間科学部	456,000	459,000	3,000	業 務 委 託 費	11,200,000	10,189,740	△1,010,260
国際学部	339,000	351,000	12,000	福 利 厚 生 費	1,000,000	644,438	△355,562
高 校	786,000	786,000	0	会 議 費	600,000	505,976	△94,024
榴ヶ岡	987,000	987,000	0	備 品 費	500,000	157,940	△342,060
中 学 校	561,000	564,000	3,000	事 務 費	250,000	167,859	△82,141
会 費	43,424,600	42,639,950	△784,650	雑 費	1,000,000	789,338	△210,662
大 学 院	399,000	381,000	△18,000	オリジナル品製作費	2,500,000	952,650	△1,547,350
文 学 部	5,550,000	5,547,000	△3,000	TG会館建設資金並びに運営資金	0	0	0
経 済 学 部	7,200,000	7,179,000	△21,000	サテライトステーション	50,000	17,140	△32,860
経 営 学 部	4,227,000	4,221,000	△6,000	光 熱 費	1,300,000	848,648	△451,352
法 学 部	4,404,000	4,395,000	△9,000	同窓会奨学事業費	5,000,000	3,829,000	△1,171,000
教 養 学 部	4,206,000	4,092,000	△114,000	助 成 金	10,000,000	9,000,000	△1,000,000
工 学 部	5,208,000	5,121,000	△87,000	貯蔵品評価損	247,500	235,500	△12,000
地域総合学部	885,000	876,000	△9,000	小 計	75,497,500	57,624,563	△17,872,937
情 報 学 部	570,000	636,000	66,000	予 備 費	7,494,577	0	△7,494,577
人間科学部	495,000	498,000	3,000	次年度繰越金			
国際学部	390,000	402,000	12,000	合 計	82,992,077	82,433,725	△558,352
高 校	2,397,600	2,339,400	△58,200				
榴ヶ岡高校	1,576,800	1,505,700	△71,100				
中 学 校	916,200	914,850	△1,350				
会 員 会 費	5,000,000	4,532,000	△468,000				
業務受託収入	2,400,000	2,400,000	0				
TG十五日会費	1,155,000	1,087,500	△67,500				
寄 付 金	100,000	80,000	△20,000				
TG会館建設資金並びに運営資金繰入金	0	0	0				
雑 収 入	80,000	75,798	△4,202				
合 計	82,992,077	82,433,725	△558,352				

※TGSS:東北学院サテライトステーション

全国に活動の場を広げる

全国 86支部 123TG会
同窓生総数 202,827人

TGネットワーク

全国の支部・TG会 北から南から

Around Japan

同窓会支部一覧 86支部

2024(令和6)年5月1日現在

宮城県	仙台同窓会 青葉支部 泉支部 太白支部 宮城野支部 若林支部 太白支部秋保地区TG会 宮城野支部岩切TG会 宮城野支部高砂TG会 利府支部 塩釜支部 多賀城支部 松島支部 鳴瀬支部 石巻支部 女川支部 志津川支部 気仙沼支部	北海道	札幌支部 旭川支部 岩見沢支部 帯広・十勝支部 釧路支部 川崎支部 函館支部 室蘭支部*	岩手県	盛岡支部 一関支部 奥州支部 釜石支部 北上・和賀支部 気仙支部 宮古支部	山形県	山形支部 上山支部 寒河江支部 酒田支部 新庄支部 天童支部 米沢支部	関東	東京支部 神奈川支部 栃木県支部 群馬支部 武蔵野支部 水戸支部	東海・近畿	東海支部 静岡支部* 近畿支部
	青森県	秋田県	福島県	信越・北陸	中国・四国・九州						
	白石支部 黒川支部 大崎支部 登米支部 美里支部 上十三支部	青森支部 八戸支部 弘前支部 秋田県南支部	福島県北支部 会津支部 いわき支部 郡山支部 相馬支部 南相馬支部 双葉支部*	新潟支部 信州支部* 北陸支部	広島支部 四国支部* 九州支部						
				北米							
				北米支部							

*は活動休止中

TG会一覧 123TG会

2024(令和6)年5月1日現在

アーサイナス同窓会 アリスグループTG会 秋田市役所TG青葉会 ALSOK宮城TG会 石巻市役所TG会 石巻信用金庫TG会 泉女子寄宿舎同窓会 岩手医大TG会* 岩手県教職員TG会* 岩手県庁TG会 エイエイピーTG会 NTTグループTG会 遠藤商事TG会 応用物理TG会 大木建設TG会 大崎市役所TG会 角田市役所TG会 鹿島グループTG会 兜町TG会 釜石市役所TG会 川口印刷工業TG会 北日本銀行TG会 基督教学科TG会 キリスト者TG会 教養学部TG会 行政書士TG会 建設TG会 工学部機械TG会 弘進コムTG会 コカ・コーラボトラーズジャパンTG会 古久根建設TG会 コクヨグループTG会	コセキTG会 裁判所TG会 佐藤製線グループTG会 三機工業グループTG会 七十七銀行TG会 清水建設TG会 職業会計人TG会 書道人TG会 シロキヤ・オフィスベンダーTG会 神学TG会 JR東日本TG会 仙台銀行TG会 仙台国際ホテルTG会 仙台市議会議員TG会 仙台市役所TG会 仙台青年会議所中高TG会 セントTG会 銭高組TG会 全日本不動産協会宮城県本部TG会 綜合警備保障TG会 大成建設グループTG会 太平エンジニアリングTG会 高砂熱学工業TG会 多賀城寄宿舎同窓会 多賀城市役所TG会 竹中TG会 帝国データバンクTG会 鉄鋼TG会 TG史学同窓会 TGしびる会 TGLしびる技術士会 TG鍼灸接骨師会	TGスポーツOB・OG連合会 TG地塩会 TG地理学同窓会 TGパソコングループ会 TG薬剤師会 電気工学TG会(コスモス) デンタルTG会 東邦銀行TG会 東北運輸局TG会 東北学院高等学校二部TG会* 東北学院3L会 東北学院大学オリエンテーションリーダーTG会 東北学院中学校・高等学校同窓会 東北学院中学高等学校寄宿舎同窓会 東北学院榴ヶ岡高等学校同窓会 東北厚生局TG会 東北高等学校TG会 東北コムTG会 東北放送TG会 東北マツダTG会 東洋熱工業(株)東北支店TG会 戸田建設TG会 凸版印刷TG会 ドクターTG会 土木教員宮城TG会 西原グループTG会 能美防災TG会 バイタルネットTG会 東九番丁寄宿舎(北黎寮)TG会 日立キャピタルTG会* 日比谷総合設備グループTG会 藤崎TG会	富士フィルムビジネスイノベーション/宮城支社TG会 復建TG会 古川工業高等学校TG会 古川電気工業TG会 ベガルタ仙台TG会 弁護士TG会 法学部同窓会 舗装TG会 北海道教職員TG会 マンノワールグループTG会 みちのく銀行TG会 水戸屋TG会 宮城県議会議員TG会 宮城県警TG会 宮城県宅地建物取引業協会TG会(宮宅建TG会) 宮城県庁TG会 宮城第一信用金庫TG会 宮城ダイハツTG会 宮城トヨタグループTG会 宮古市役所TG会 明治安田生命TG会 メットライフ生命TG会 盛岡市役所TG会 杜の都信用金庫TG会 守屋グループTG会 ユアテックTG会 リコージャパン宮城支社TG会
---	---	--	---

*は活動休止中

※支部、TG会等の活動予定については、東北学院時報に掲載しております。支部、TG会等の活動に関する情報を校友課までお知らせください。

東北学院同窓会の温かさと存在意義を
次の世代に引き継いでまいります。

東北学院同窓会 東京支部 支部長

宮川 忠康 (みやかわ・ただやす)

宮川ローラー株式会社 専務取締役
昭和56年東北学院大学経済学部経済学科卒



profile

仙台市出身。昭和56年に東北学院大学を卒業、家業の仙台 宮川ローラー製作所(現 宮川ローラー株式会社)に入社。現在では半導体、液晶、フラットパネル、燃料電池、太陽電池など、さまざまな業界で使用される高機能フィルム製造用ロールを主力製品として製造。創業以来、新しい製品を常に生み出し続けている。趣味はゴルフ、バラの鉢植え栽培、ジム通い(ZUMBA)。

Faces

同窓会ネットワークを支える
この人 この顔



— 東京支部の活動を教えてください。

5年前に支部長を引き継ぎましたが、コロナ禍の影響で3年間はほとんど活動ができませんでした。昨年、4年ぶりに総会を開催し、約400人にハガキを送りましたが、返信があったのは30人のみでした。最終的には幹事の方々が声をかけてくださり、70人ほど集まりました。「これは本当に厳しい状況だ」と痛感しました。

東京支部は通勤族が多いことから、人とのつながりを地道に築いていくしかないと考え、昨年は幹事を13名から20名に増やしました。現在、関東1都6県で約7500人(東京都内が約2100人)の会員がいますが、今年から来年に向け幹事を30名程度に増やし、来年度の総会には100名ほど集めたいと考えています。困ったときは、東北学院の校友課に頼るので、できる限りのことをやってみようと思っています。

幹事の皆さんの協力もあり、今年は2000通以上の案内を送付することができました。私も会社では経営側に立つ立場なので、「やってみなければ結果は出ない」という姿勢で取り組んでいます。支部活動でも同様で、新しいことに挑戦しなければ結果は得られません。「参加して楽しかった」、「やってよかった」と感じてもらえるような価値を提供できればと思っています。また、できるだけ多くのことを次の世代に引き継ぎたいと考えています。

— 学生時代を振り返ってみて、どのようなことが印象に残っていますか。

学生時代は少林寺拳法に取り組み、3段を取得しました。小学校から高校まではサッカーをしていましたが、大学では新しいことに挑戦できると思い入部しました。大学時代を振り返ると、大学の道場でひたすら練習していたことが思い出に残っています。授業に出るときも道着を着たままで、着替える時間がないほど忙しかったです。大変な時期でしたが、いま振り返ると、本当によい経験だったと思います。

この経験がなければ、いまの自分はなかったでしょう。少林寺拳法の教えは、私の心の支えとなっています。特に「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」という言葉が深く心に残っています。また、妻とは大学時代に知り合いましたので、二人とも東北学院に対して恩返しをしたいという気持ちをもっています。



東北学院校歌

E.H.ゾーゲ 作詞・作曲
青木義夫 訳詞

一、 若人われらの理想の国は
青葉の都よ

ああ東北学院
(おりかえし)

世の光 わがほこり
いざほめよや 友よ
もろごえあわせて

われらの学院

二、 大路ひとすじにたどり行けば
ちえの泉わく

ああ東北学院

三、 いくよ培いし大和心
神の愛に咲く

ああ東北学院

四、 命をささげし真の人
うたわるるいずこ

ああ東北学院

五、 教えのみ母よ汝がこころは
地のきわみまでも

ああ東北学院

校友課より

「個人情報保護法」への取り組みについて

平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院では園児・生徒・学生をはじめ卒業生等の個人情報の取り扱いについて「学校法人東北学院個人情報保護規程」を定め、個人情報の適正な管理と保護に務めています。

校友課では、東北学院同窓会の運営に必要な皆様の個人情報をお預かりしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。詳細については、東北学院ホームページに掲載していますのでご覧ください。

なお、東北学院同窓会で使用する個人情報の利用目的は、次の通りです。

- ◇「東北学院時報」並びに「3L通信—Lux Mundi」の送付
- ◇「東北学院時報」購読料並びに同窓会費の徴収に関わる事務
- ◇各支部・TG会などが主催する総会及び行事の案内
- ◇その他、上記に関連する業務

住所等変更届のお願い

同窓生の皆様には、お名前・ご住所・電話番号に変更が生じましたら、お手数でも校友課までご連絡くださいますようお願いいたします。お預かりする皆様方の個人情報は慎重に取り扱い、同窓会に関する利用目的以外には使用いたしません。特に「東北学院時報」と「3L通信—Lux Mundi」は、皆様と母校を結び通信手段として欠かせないものですので、ぜひご協力をお願いいたします。なお、住所変更届は東北学院同窓会ホームページからも行うことができます。



同窓会費(時報購読料を含む3,000円)納入のお願い

多くの同窓生の皆様のご協力をお願いいたします。同姓同名の同窓生がいます。納入する際、東北学院時報の宛先 帯封の9桁番号も必ずお知らせ下さい。

<以下①②③のどの方法でも納入できます>

- ①ゆうちょ銀行で、同窓会送金専用の払込取扱票で送金。
- ②ゆうちょ銀行以外の金融機関の窓口・ATMで送金。

氏名の後に、帯封の9桁番号を必ずご記入(入力)ください。
振込み先口座は以下の通り。

【銀行名】ゆうちょ銀行 (金融機関コード:9900)

【支店名】二二九店(ニニキユウ店) (店番:229)

【受取人】トウホクガクインドウソウカイ(東北学院同窓会)

【預金種目】当座

【口座番号】0000883

- ③ネットバンキングで送金。振込み先口座は②と同様。

帯封の9桁番号を必ずご入力ください。入力できない時は、dousou@mail.tohoku-gakuin.ac.jp(同窓会事務局)にご連絡ください。

発行日/2024(令和6)年12月1日

発行所/東北学院同窓会(事務局:庶務部校友課)

発行人/森山 博(東北学院同窓会長)

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号

TEL.022-264-6468 FAX.022-214-0404

URL : <https://www.tg-alumni.jp>

E-mail : dousou@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

印刷/株式会社ユーメディア